

~~~~~  
 久間 清俊 (くま きよとし) 教授 略歴  
 ~~~~~

1944年 8月18日生まれ 佐賀県出身

学 歴

- 1969年 3月 京都大学経済学部経済学科卒業
 1969年 4月 九州大学大学院経済学研究科修士課程入学
 1971年 3月 同 修了
 1971年 4月 九州大学大学院経済学研究科博士課程進学
 1971年10月 同 中途退学
 1975年 4月 九州大学大学院経済学研究科研究生入学
 1976年 3月 同 退学

職 歴

- 1971年11月 九州大学経済学部研究助手
 1975年 3月 同 退職
 1976年 4月 鹿児島経済大学 (現:鹿児島国際大学) 経済学部専任講師
 (担当科目:社会思想史、経済原論、演習)
 1981年 3月 同 退職
 1981年 4月 熊本女子大学 (現:熊本県立大学) 生活科学部助教授
 (担当科目:経済学、社会政策論、演習)
 1986年 8月 ドイツ連邦共和国・ドルトムント大学・経済社会学部客員教授
 (1987年 7月まで)
 1988年 4月 熊本女子大学生活科学部教授
 1992年 4月 熊本女子大学評議員 (1993年 3月迄)
 1993年 4月 熊本女子大学学生部長 (1995年 3月迄)
 1994年 4月 熊本県立大学総合管理学部教授

(担当科目：現代生活と社会政策、社会政策論、社会経済思想史、労働経済論、演習)

- 1998年4月 熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科博士前期課程・社会思想史特殊講義担当
- 2000年4月 同 博士前期課程・社会思想史特別演習担当
同 博士後期課程・社会思想史特別研究担当
- 2000年4月 熊本県立大学総合管理学部・学部長 (2002年3月迄)
熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科・研究科長 (2002年3月迄)

主な研究業績

《著書》

1. 単著

『近代市民社会と高度資本主義』（ミネルヴァ書房、2000年8月）

2. 編著

『社会経済思想の進化とコミュニティ』（岡村・久間・姫野・編著、ミネルヴァ書房、2003年9月）

3. 共著

『新千年紀のパラダイム・上巻』（熊本県立大学総合管理学会編、九州大学出版会、2004年5月）

『経済社会のダイナミズム』（秋山・立山・松尾編著、税務経理協会、2001年）

『エコノミックス事始め』（小谷・伊木・安部・池尾編著、ミネルヴァ書房、1999年9月）

『制度・市場の展望』（岡村・佐々野・矢野編著、昭和堂、1994年3月）

『市場経済の思想像』（中村廣治編著、九州大学出版会、1994年4月）

『社会政策学と生活の論理』（社会政策学会編、啓文社、1992年10月）

『現代生活の諸問題』（加勢川堯編、明文書房、1991年9月）

《論文》

1. 学術論文

- ① 「M. ヴェーバーの社会政策論に関する一考察—官僚制批判を中心にして—」(九州大学大学院経済学会『経済論究』第32号、所収)、1974年(昭和49年)7月。
- ② 「M. ヴェーバーの政策論の一側面」(九州大学経済学会『経済学研究』第41巻第2号、所収)、1976年(昭和51年)1月。
- ③ 「K. カウツキーの帝国主義認識—再生産論と世界市場」(鹿児島経済大学学会『鹿児島経大論集』第19巻第3号、所収)、1978年(昭和53年)12月。
- ④ 「K. カウツキーの超帝国主義論(上)—民主主義、社会主義論を中心として—」(同上『鹿児島経大論集』第22巻第1号、所収)、1981年(昭和56年)4月。
- ⑤ 「K. カウツキーの超帝国主義論(中)—民主主義、社会主義論を中心に—」(熊本女子大学『熊本女子大学学術紀要』第34巻第1号、所収)、1982年(昭和57年)3月。
- ⑥ 「K. カウツキーの超帝国主義論(下)—民主主義、社会主義論を中心に—」(同上『熊本女子大学学術紀要』第40巻第1号、所収)、1988年(昭和63年)3月。
- ⑦ 「西ドイツにおける最近の労働政策の動向について」(同上『生活文化研究』、第7巻第1号、所収)、1988年(昭和63年)12月。
- ⑧ 「K. カウツキーと M. ヴェーバー—資本主義・社会主義論について—」(同上『熊本女子大学学術紀要』第41巻第1号、所収)、1989年(平成元年)3月。

2. 調査報告書

- ① 共著(加勢川・小寺・久間・中宮・松本)「都市圏におけるコミュニティ再形成の実証的研究」(熊本女子大学『生活文化研究』第2巻第1号、所収)、1983年(昭和58年)3月。
- ② 共著(久間・中宮・松尾・高埜・黄・井田)「地域経済の活性化と国際化

の一考察—タイ（バンコク）と韓国（ソウル）の現地調査から」（熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第2巻4号、所収）、1996年（平成8年）3月。

《翻 訳》

- ① 共訳（豊田・岡村・久間）、ウルズラ・シュム＝ガーリンク『労働・組織・支配』、ユニテ、1983年（昭和58年）4月。

《学会報告》

- ① 単独「M. ヴェーバーの官僚制批判」（経済学史学会西南部会、佐賀大学）、1972年（昭和47年）7月。
- ② 単独「M. ヴェーバーの経済政策論の一考察—官僚制批判を中心に—」（同上、福岡大学）、1974年（昭和49年）、1月。
- ③ 単独「レーニンとカウツキーの帝国主義段階認識の比較」（同上、福岡大学）、1980年（昭和55年）7月。
- ④ 単独「カール・カウツキーの社会主義」（社会政策学会九州部会、九州産業大学）、1991年（平成3年）2月。
- ⑤ 共同討論「社会政策学と生活の論理」（社会政策学会第83回研究大会、下関市立大学）、1991年（平成3年）11月。
- ⑥ 単独「社会国家の現代的位相」（セッション:第一ブロック「ドイツの社会国家の生成・変遷とそれを巡る論争および学説」に於いて）（社会思想史学会第28回大会、2003年（平成15年）10月。

学会活動

- 1971年4月 経済学史学会会員（現在に至る）
- 1982年4月 社会政策学会会員（現在に至る）
- 1983年4月 経済理論学会会員（現在に至る）
- 1985年4月 社会思想史学会会員（現在に至る）

1989年4月 進化経済学会会員（現在に至る）

社会活動

- 1988年6月 熊本県婦人問題懇話会委員（1992年3月迄）
- 1988年6月 熊本県消費者苦情処理委員会委員（2003年6月）
- 1989年11月 熊本県大規模小売店舗審議会委員（2000年5月迄。1996年6月から2000年5月まで第二種部門の会長）
- 1996年5月 熊本県地域雇用開発協議会委員（2000年3月）
- 1996年10月 熊本県雇用対策審議会委員（2000年3月）
- 1998年8月 熊本県天草地域先端技術波及促進計画策定調査委員会（1999年3月迄。会長）
- 2003年6月 熊本県消費生活審議会委員（現在に至る。会長）
- 2004年6月 熊本地方最低賃金審議会委員（現在に至る）
- 2008年7月 熊本県労働審議会委員（現在に至る）
- 2008年7月 熊本仕事と生活の調和推進会議委員（現在に至る。副会長）